

広報たてやま

6月

■平成2年6月号(毎月15日発行) ■No.471

■発行/館山市役所市長公室 〒294 館山市北条1145-1 ■電話22-3111



まちをリフレッシュ!! あき缶など27トンを収集

今月3日(日)、市民16,000人がごみゼロ運動を実施しました。集められたごみは、あき缶などおよそ27トン。わたしたちのまちもリフレッシュです。

よほど気をつけていないと、たまってしまうごみ、汚れてしまうまち。ごみを出さないように心がけるのではなく、ごみのない快適な環境にしかじめない、そんな生活スタイルが、この子らの時代にはふつうになるかもしれません。まちを愛する心はすくすくと育っています。

この広報紙は、森林資源の保護と、紙ごみの減量のため、再生紙を使用しています。

平成2年6月15日

館山下町の交差点から神戸へと向かう県道ができる以前は、真倉から佐野へと山越えする道である三ツ山というところで、まだ江戸時代も始まつたばかりの慶長十九年(一六二四)九月十三日、十三人の武士が自害したのでした。

それは、この四日までの九月九目に改易となつた館山城主里見忠義のために忠死した家臣たちだったのです。そこに、十三騎塚の伝説が伝えられています。その日、佐野村千葉寺の住僧俊智法印が、この三ツ山を通りかかったとき、十二人の義士が西を廻いて自害していたそうです。介錯人の善清房がひとり残つていて、俊智法印にこう告げました。「この義士たちが頼むに頼むに、館山城の見えるところへ葬つてくれということなのだ。ぜ

く待つていてください」そういって小網寺へ向かいました。その間に、善清房も皆に連れをとることを心配し、自害して果てたのです。



市立博物館の七月の休館
日は、二日、九日、十六日、
二十三日、三十日です。



-63-

ひともあなたにお願いしたい」といふと俊智法印は「それでは小網寺が近いので、そこの住職を呼びましよう。それまでしばら

呼んでおまかせ」といふと俊智法印は「それでは小網寺が近いので、そこの住職を呼びましよう。それまでしばら

十二騎塚伝説

こうして、十三人は小網寺そばの館山城を西に望む小高い場所に葬られ、十三騎塚として伝わっているわけです。

しかし、これはあくまで伝説であつて根拠のある話ではありません。こうした十三騎塚は全國的によく見られるもので、寺

三仏信仰からの数倉わせとも考えられます。三芳村の下流域にも、里見氏の内歴で戦死した人々を祀るという手

二人塚があるそうです。そうはいつでも長く伝えられてきた話です。それは、その遺跡、人々の信仰や先人に対する思いとともに大切にしていかなくてはなりません。

皆さんの相談室です。お気軽にどうぞ

児童

市福祉事務所で

専門の先生が子供の養育の問題点について相談を受けます。

心配ごと

毎週火曜日

午前10時～午後3時
登記・相続・人権に関する相談は、専門相談員により毎月第1火曜日

結婚 每月第1・3日曜日
午前10時～午後4時

※市民センターで、
社会福祉協議会(☎23-5068)

市民

市役所市民相談室で

毎日午前9時～午後5時

家庭教育

ことば、生活習慣、登校拒否、非行、性、いじめの相談など

年金

市役所で 厚生年金など
7月20日(金)
午前10時～午後3時

月～金曜日 午前9時～午後4時
中央公民館 電話で23-3111へ

消費生活
市役所市民相談室
午前9時～午後4時
7月19日木
7月19日木
商品やサービスの苦情
7月19日木
7月19日木

身障・精薄
毎月第4火曜日
午後1時～3時
※身障 伊賀病院
※精薄 田村第二病院
福祉事務所福祉係に必ず事前に申し込みを

乳幼児

○乳児相談

7月9日(月) 保健センター
7月23日(月) 保健センター
(4ヶ月児)

午前9時30分～10時受付
(10ヶ月児)
午前10時30分～11時受付

○1歳6ヶ月健診

7月5日(木) 保健センター
午後1時30分～2時受付
63年11月生まれ児対象

○3歳児健診

7月26日(木) 館山保健所
午後1時30分～2時受付
62年4月生まれ児対象

相談はこの人たちに

氏名		担当地区		氏名		担当地区		氏名		担当地区	
館	山	地	区	氏	名	担	当	地	区	氏	名
松	新井ノ1	大	長ノ7	子	代	子	子	西町	川坂	満	里
鈴	新井ノ2	石	長ノ8	子	代	子	子	上郷	竜岡・松岡	昌	中里
安	新井ノ3	山	八幡	子	代	子	子	中里	犬石	博	大石
桑	下町	育	八幡	子	代	子	子	浦生	佐野	京	涌生
伊	仲町	良	八幡	子	代	子	子	藤原	藤原	延	原
秋	上町	二	八幡	子	代	子	子	谷	谷	美江子	茂名
田	楠	高	八幡	子	代	子	子	洲宮	洲宮	かと	布沼
鉛	上須賀	礎	八幡	子	代	子	子	布沼	布沼	か	島渡野
森	真倉	若	八幡	子	代	子	子	崎	崎	江子	佐
石	倉柳	高	八幡	子	代	子	子	地	地	富	山
市	西岡	坂	八幡	子	代	子	子	区	区	見	勢
桐	東山村	見	八幡	子	代	子	子	勢	勢	ひろ	見
齋	木淹	松	八幡	子	代	子	子	吉	吉	慶	田
秋	井毛	造	八幡	子	代	子	子	勢	勢	三枝	田
中	岡原	月	八幡	子	代	子	子	平	平	富	見
川	原崎	尾	八幡	子	代	子	子	村	平	と	山
鉛	宮城	口	八幡	子	代	子	子	田	平	豊	田
北	笠名		八幡	子	代	子	子	田	平	房	田
利	笠名		八幡	子	代	子	子	田	平	長	田
竹	佐賀		八幡	子	代	子	子	田	平	長	田
山	寺		八幡	子	代	子	子	田	平	長	田
戸	山本		八幡	子	代	子	子	田	平	長	田
佐	佐賀		八幡	子	代	子	子	田	平	長	田
菅	(市住)		八幡	子	代	子	子	田	平	長	田
寺	里見		八幡	子	代	子	子	田	平	長	田
山	里見		八幡	子	代	子	子	田	平	長	田
木	(自官)		八幡	子	代	子	子	田	平	長	田
北		条		地		区		野		地	
三代	子	南	町	石	堂	生	大	野	昭	大	網
子	代	町	南	鈴	堂	子	安	井	サ	布	里
通	子	町	南	杉	堂	子	布	岸	久	布	里
歌	み	町	神明	木	東	子	山	田	繁	山	本
と	上	町	明町	木	仲	子	本	岸	美	本	2
ち	工	町	神明町	木	宿	子	山	名	代	本	3
ユ	エ	町	新宿	木	西	根	国	川	美	国	分
キ	ル	町	三軒町	木	根	岸	分	川	光	分	北
カ	エ	町	鶴ヶ谷	木	名	岸	中	大	紀	中	國
邦	キ	町	鶴ヶ谷	木	間	名	大	塚	みつ	國	分
久	ル	町	新宿	木	川	岡	稻	柳	江	和	南
節	可	町	三軒町	木	田	岡	分	塚	代	代	國
裕	津	町	鶴ヶ谷	木	田	岡	南	柳	和	和	國
ミ	ミ	町	新宿	木	田	岡	高	柳	野	和	國
と	と	町	三軒町	木	田	岡	谷	柳	野	野	地
和	和	町	鶴ヶ谷	木	田	岡	高	柳	野	野	区
重	重	町	新宿	木	田	岡	谷	柳	野	野	区
津	津	町	三軒町	木	田	岡	高	柳	野	野	区
瀬	瀬	町	鶴ヶ谷	木	田	岡	谷	柳	野	野	区
北		条		地		区		野		地	
砂	子	山	南	山	口	香	大	野	昭	大	網
中	代	地	南	飯	沼	塩	安	井	サ	布	里
三	木	区	神	岩	岩	見	布	岸	久	布	里
米	井	区	明	本	本	田	分	岸	繁	山	本
大	井	区	町	村	村	田	中	名	美	本	2
山	井	区	新宿	西	西	田	大	川	代	本	3
大	井	区	三軒町	木	木	田	塚	名	國	分	北
山	井	区	鶴ヶ谷	木	木	田	柳	岡	南	中	國
蕭	井	区	新宿	木	木	田	柳	高	國	分	南
笠	井	区	三軒町	木	木	田	柳	谷	國	中	國
石	井	区	鶴ヶ谷	木	木	田	柳	野	國	國	南
近	井	区	新宿	木	木	田	柳	野	國	國	國
池	井	区	三軒町	木	木	田	柳	野	國	國	國
出	井	区	鶴ヶ谷	木	木	田	柳	野	國	國	國
青	井	区	新宿	木	木	田	柳	野	國	國	國
北		条		地		区		野		地	
砂	子	山	南	山	口	江	大	野	昭	大	網
中	代	地	南	飯	沼	子	安	井	サ	布	里
三	木	区	神	岩	岩	喜	布	岸	久	布	里
米	井	区	明	本	本	子	分	岸	繁	山	本
大	井	区	町	村	村	子	中	名	美	本	2
山	井	区	新宿	西	西	子	大	川	代	本	3
大	井	区	三軒町	木	木	子	塚	名	國	分	北
山	井	区	鶴ヶ谷	木	木	子	柳	岡	國	中	國
蕭	井	区	新宿	木	木	子	柳	高	國	國	南
笠	井	区	三軒町	木	木	子	柳	谷	國	國	國
石	井	区	鶴ヶ谷	木	木	子	柳	野	國	國	國
北		条		地		区		野		地	
砂	子	山	南	山	口	江	大	野	昭	大	網
中	代	地	南	飯	沼	子	安	井	サ	布	里
三	木	区	神	岩	岩	喜	布	岸	久	布	里
米	井	区	明	本	本	子	分	岸	繁	山	本
大	井	区	町	村	村	子	中	名	美	本	2
山	井	区	新宿	西	西	子	大	川	代	本	3
大	井	区	三軒町	木	木	子	塚	名	國	分	北
山	井	区	鶴ヶ谷	木	木	子	柳	岡	國	中	國
蕭	井	区	新宿	木	木	子	柳	高	國	國	南
笠	井	区	三軒町	木	木	子	柳	谷	國	國	國
石	井	区	鶴ヶ谷	木	木	子	柳	野	國	國	國
北		条		地		区		野		地	
砂	子	山	南	山	口	江	大	野	昭	大	網
中	代	地	南	飯	沼	子	安	井	サ	布	里
三	木	区	神	岩	岩	喜	布	岸	久	布	里
米	井	区	明	本	本	子	分	岸	繁	山	本
大	井	区	町	村	村	子	中	名	美	本	2
山	井	区	新宿	西	西	子	大	川	代	本	3
大	井	区	三軒町	木	木	子	塚	名	國	分	北
山	井	区	鶴ヶ谷	木	木	子	柳	岡	國	中	國
蕭	井	区	新宿	木	木	子	柳	高	國	國	南
笠	井	区	三軒町	木	木	子	柳	谷	國	國	國
石	井	区	鶴ヶ谷	木	木	子	柳	野	國	國	國
北		条		地		区		野		地	
砂	子	山	南	山	口	江	大	野	昭	大	網
中	代	地	南	飯	沼	子	安	井	サ	布	里
三	木	区	神	岩	岩	喜	布	岸	久	布	里
米	井	区	明	本	本	子	分	岸	繁	山	本
大	井	区	町	村	村	子	中	名	美	本	2
山	井	区	新宿	西	西	子	大	川	代	本	3
大	井	区	三軒町	木	木	子	塚	名	國	分	北
山	井	区	鶴ヶ谷	木	木	子	柳	岡	國	中	國
蕭	井	区	新宿	木	木	子	柳	高	國	國	南
笠	井	区	三軒町	木	木	子	柳	谷	國	國	國
石	井	区	鶴ヶ谷	木	木	子	柳	野	國	國	國
北		条		地		区		野		地	
砂	子	山	南	山	口	江	大	野	昭	大	網
中	代	地	南	飯	沼	子	安	井	サ	布	里
三	木	区	神	岩	岩	喜	布	岸	久	布	里
米	井	区	明	本	本	子	分	岸	繁	山	本
大	井	区	町	村	村	子	中	名	美	本	2
山	井	区	新宿	西	西	子	大	川	代	本	3
大	井	区	三軒町	木	木	子	塚	名	國	分	北
山	井	区	鶴ヶ谷	木	木	子	柳	岡	國	中	國
蕭	井	区	新宿	木	木	子	柳	高	國	國	南
笠	井	区	三軒町	木	木	子	柳	谷	國	國	國
石	井	区	鶴ヶ谷	木	木	子	柳	野	國	國	國
北		条		地		区		野		地	
砂	子	山	南	山	口	江	大	野	昭	大	網
中	代	地	南	飯	沼	子	安	井	サ	布	里
三	木	区	神	岩	岩	喜	布	岸	久	布	里
米	井	区	明	本	本	子	分	岸	繁	山	本
大	井	区	町	村	村	子	中	名	美	本	2
山	井	区	新宿	西	西	子	大	川	代	本	3
大	井	区	三軒町	木	木	子	塚	名	國	分	北
山	井	区	鶴ヶ谷	木	木	子	柳	岡	國	中	國
蕭	井	区	新宿	木	木	子	柳	高	國	國	南
笠	井	区	三軒町	木	木	子	柳	谷	國	國	國
石	井	区	鶴ヶ谷	木	木	子	柳	野	國	國	國
北		条		地		区		野		地	
砂	子	山	南	山	口	江	大	野	昭	大	網
中	代	地	南	飯	沼	子	安	井	サ	布	里
三	木	区	神	岩	岩	喜	布	岸	久	布	里
米	井	区	明	本	本	子	分	岸	繁	山	本
大	井	区	町	村	村	子	中	名	美	本	2
山	井	区	新宿	西	西	子	大	川	代	本	3
大	井	区	三軒町	木	木	子	塚	名	國	分	北
山	井	区	鶴ヶ谷	木	木	子	柳				

これまでにあげたもののほか、たくさんの健康づくり事業に、いろいろ幅広く協力していただいているです。

それぞれの町内を単位に、四十七人の保健推進員は、市民の健康づくり事業の歯車のひとつとして、りっぱに動き出しています。今年、新しく委嘱された人も、すでに活躍を始めていきます。

多く必要とされます。このため、市ではいろいろな勉強の機会を設け、受講してもらっています。

こんにちは保健推進員です

147人が活躍中



家庭訪問

成人病予防食等の
普及調理実習

各種研修会や 講習会への参加

お年寄りの様子を見たり聞いたたりした身近な情報を保健婦へ連絡、報告したり成人病予防のための健康相談や健康教育、総合検診への参加を呼びかけたりします。

保健推進員から報告された、より早い情報で保健婦は寝たきり老人の予防、成人病予防、育児に悩んでいるお母さんに対し早くに問題解決をはかることができます。このように保健推進員の家庭訪問は地区の健康づくりを進める重要なパイプ役となります。

調理実習などで学んだことは、自分の地域へ持ち帰り、近所の集会所等で、さらに多くの人たちに伝達講習をします。伝達講習に参加したみなさんから、「手軽なうえに勉強になる」と大変、喜ばれています。

各種研修会や 講習会への参加

保健推進員は、活動の範囲が大変広いため、知識もそれだけ

調理実習などで学んだことは、自分の地域へ持ち帰り、近所の集会所等で、さらに多くの人たちに伝達講習をします。

みなさん、健康づくりの相談役として、保健推進員百四十七人が、四月、委嘱されました。任期は三年です。昭和五十九年に誕生して以来、六年間の歴史を積み、三度めのスタートです。赤ちゃんから老人まで、文字どおり生涯を通じての健康づくりのお手伝いをし、市の保健業務と家庭のパイプ役として活躍します。健康に関するどんな相談でも気軽にご相談ください。

保健推進員（四十七人が四月、委嘱されましたのでご紹介します。）

任期は三年で、今度、委嘱された推進員は、平成五年三月まで活動して、さざきます。

各種健診、相談、 健康教育への協力



平成2年6月15日

市内各所でクリーン作戦を展開

まちをきれいにしようと、今月三日(日)、市内各地でクリーン作戦を展開。関東一都九県で定めた「ゴミゼロ運動」は、今年で九回めです。町内会や子供会、老人会など各種団体から一万六千人が参加しました。この日、集められたごみは、あき缶等が二十七㌧、古紙が三十六㌧。ごみの一部は、資源として再利用されるはずです。

▲一人ひとりの力がまちをきれいにします▼



▲ごみの中には、こんな危険なものも
業者へどうぞ

▼古紙が山に…



いい汗流して体力づくり スポーツ教室開催

先月から今月にかけ、市教育委員会主催の卓球、軽スポーツ、親子水泳、硬式テニスの各スポーツ教室が開かれています。どの教室もにぎやかに和気あいあい。みんな、勉強や仕事の疲れを忘れて、体力づくりや仲間づくりにいい汗を流していました。

「市民のひろば」への投稿をお待ちします。毎日の暮らしのヒント、身近な意見などを400字以内にまとめてお送りください。電話でもけっこうです。

あて先は、北条1145-1、市役所市長公室広報係です。

五十周年記念樹

さらに彼方へ大きく育て

ふれあい市場オープン

新たな漁業振興の拠点に



組合員だけでなく、一般の市民も対象に鮮魚等の販売を行なう「ふれあい市場」が、先月十七日、船形漁協にオープンしました。新たな漁業振興の拠点として期待されています。



